資料１

第３回　千歳市かわまちづくり検討会資料

# 第２回検討会の振り返り

令和６年７月２５日

# 第２回　千歳市かわまちづくり検討会の振り返り



## 議事次第

■日時：令和６年２月２９日（月）１３：３０～
■場所：千歳市民文化センター　北ガス文化ホール３階　中会議室２
■出席者：１２名
■主な議題
✓第１回検討会の振り返り
✓アンケート分析結果について
✓定量的目標の提示
✓千歳市かわまちづくり計画について

## 開催主旨

１月２９日の第１回につづき、第２回かわまちづくり検討会が開催されました。
事務局よりアンケートの分析結果について説明があり、かわまちづくりのコンセプト、定量的目標、ソフト・ハード施策案について、議論されました。

### 定量的目標

定量的目標は、千歳市への観光入込客数と道の駅サーモンパーク千歳への来場者数を指標とすることに決定した。

### ソフト・ハード施策候補の選定

委員へのアンケート結果より、優先順位が高い以下の４つの施策を中心に、今後検討を進めていくことが決まりました。

✓ 連続性の確保による周遊性向上
✓ 清水町親水公園の賑わいの創出
✓ “まちなか”でのカヌーコース設定
✓ サイクリング利用の推進

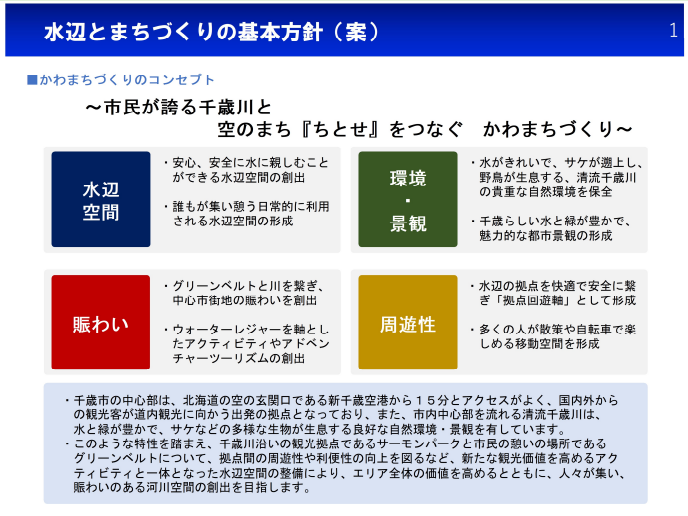
第２回　千歳市かわまちづくり検討会の開催状況

## 第３回かわたびほっかいどう大賞受賞報告

千歳青年会議所が中心となって開催されている今年で10周年の「RIVER CITY PROJECT CHITOSE」が、全道355件の取組の中から、「第3回かわたびほっかいどう大賞」を受賞したことが紹介されました。

## かわまちづくりのコンセプト

第１回検討会での意見やアンケート結果を踏まえ、かわまちづくりのコンセプト（案）が提案されました。




かわまちづくりのコンセプト 基本方針（案）

# 第２回　千歳市かわまちづくり検討会の振り返り



## コンセプトの設定等に対する意見　→　地域住民への配慮事項を盛り込む

### 意見

- 計画のターゲットは地域住民と観光の両方としていたのに対し、提示されたコンセプトは観光に関わる文言が多いため、地域住民に触れる整理も必要と感じる。
- 地元の住民、観光客の両方がストレスにならないような環境が必要と思っており、ターゲットについては、事務局提案のとおりでよい。

### 決定事項

- コンセプトは、計画書に記載する際に、地域住民への配慮事項なども盛り込んで記載することに決定。
- 定量的目標は、「千歳市への観光入込客数」と「道の駅サーモンパーク千歳への来場者数」を指標とすることに決定。

## ソフト施策への意見　→　既存組織の連携に向けて検討する

### 意見

- 中心市街地から道の駅の区間の沿川住民は、高齢化が課題となっており、既存団体を母体に千歳川で活動している方を募って維持管理を担う組織はできないか。
- 年齢層が高いエリアは人数が集まらないこともある。もっと協力したいと思う市民が増えれば、活動を継続していけると思う。
- 維持管理・清掃活動は、必ずしも組織が必要ということではなく、川に興味・関心を持ってもらう仕組みが必要である。
- かわまちづくりの観点で、どのように川に興味を持ってもらうかを検討し、組織が必要となった場合は立ち上げや、既存組織との連携等を検討するのが良い。

# 第２回　千歳市かわまちづくり検討会の振り返り



## ハード施策への意見

→　鮭の捕獲作業時の支障とならない通路のBOX化を検討
→　指定区間（北海道管理区間）も含めて検討を進めていく

### 意見

- インディアン水車橋左岸は、コロナ禍以前は鮭の捕獲作業がない季節限定で通行可能であった。但し、鮭の捕獲作業時はトラックの出入りもあり交通整理では通行が難しいため、通年で通行可能とするためには別の方策を考える必要がある。
- 現状のカヌー利用を考えると、ウサクマイ遺跡や名水ふれあい公園、スポーツセンターがポイントになる。
- 縄文時代の遺跡などは千歳市の文化を感じられるため、観光利用の観点でもそこから人が流れることを視野に入れた計画になるとよい。

## 人道橋整備への意見

→　現状では、計画書への記載は難しい

### 意見

- 千歳川沿いだけでなく、グリーンベルトを含めた縦と横で周遊性があると、市民として使いやすいと思う。
- かわまちづくり計画で、親水公園周辺を重点施策として検討するのであれば、この機会に一体的に整備するのが効果的と考える。
- 人道橋を架けても、グリーンベルトがしっかり維持管理されていないと利用されなくなる。整備にあたっては、このようなことも含めて総合的に考える必要がある。

# かわまちづくりのコンセプトについて



■かわまちづくりのコンセプト

## ～市民が誇る千歳川と空のまち『ちとせ』をつなぐ　かわまちづくり～

**水辺空間**

・安心、安全に水に親しむことができる水辺空間の創出

・誰もが集い憩う日常的に利用される水辺空間の形成

**環境・景観**

・水がきれいでサケの遡上やカワセミなどの野鳥等が生息する、清流千歳川の貴重な自然環境を保全

・千歳らしい水と緑が豊かで、魅力的な都市景観の形成

**賑わい**

・グリーンベルトと川を繋ぎ、中心市街地の賑わいを創出

・ウォーターレジャーを軸としたアクティビティやアドベチャーツーリズムの創出

※賑わいの創出にあたっては、地域の生活に配慮

**周遊性**

・水辺の拠点を快適で安全に繋ぎ「拠点回遊軸」として形成

・多くの人が散策や自転車で楽しめる移動空間を形成

※赤字：修正箇所

# 千歳川での清掃活動について



千歳川で清掃活動を行っている組織については、以下のとおり

## ●千歳川　クリーンアップ大作戦

組織構成　主催：千歳青年会議所（JC）
　　共催：清流と緑を守る市民の会
活動状況　・コロナが明け、2023年から活動を再開。
　　・陸上自衛隊、町内会等が参加
　　・千歳川を減水しての作業は、2023年は未実施。
　　（2023年は、減水せずに自衛隊が川の中の清掃を実施。）
開催時期　7月～8月
実施区間　清水町親水公園周辺

## ●リバークリーンデイ

組織構成　主催：一般社団法人かのあ
活動状況　カヌー、カヤック、ゴムボートを使った清掃活動
実施時期　春、秋の年2回
実施区間　ウサクマイ橋～名水ふれあい公園

## ●河川管理者

■札幌開発建設部千歳川河川事務所
・必要に応じて、支障にならない範囲で王子製紙に協力を依頼し、減水調整を行う。
・ゴミの処分について協力する。
■札幌建設管理部千歳出張所
・ゴミの処分について協力する。

# 千歳市かわまちづくり検討会での検討範囲について



・本検討会の検討範囲については、第２回検討会で意見のあったポイントを含む、道の駅区間までとする。